



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月8日

上場会社名 株式会社浅沼組 上場取引所 東
 コード番号 1852 URL http://www.asanuma.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浅沼 誠
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長兼コーポレート・コミュニケーション部長 (氏名) 八木 良道 (TEL) 06(6585)5500
 四半期報告書提出予定日 2019年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	68,665	25.1	3,371	120.8	3,280	119.4	2,191	116.5
2019年3月期第2四半期	54,904	△16.1	1,526	△57.6	1,494	△57.7	1,012	△57.5

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 2,283百万円(42.7%) 2019年3月期第2四半期 1,600百万円(△43.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2020年3月期第2四半期	円 銭 271.86	円 銭 —
2019年3月期第2四半期	120.85	—

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2020年3月期第2四半期	百万円 96,719	百万円 38,515	% 39.6
2019年3月期	102,000	37,466	36.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 38,325百万円 2019年3月期 37,281百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2019年3月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 153.00	円 銭 153.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	円 銭 208.00	円 銭 208.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	134,700	△0.7	6,270	10.0	6,160	9.7	4,180	0.0	518.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	8,078,629株	2019年3月期	8,508,629株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	16,558株	2019年3月期	446,382株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	8,062,110株	2019年3月期2Q	8,376,888株

(注) 2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
3. 補足情報	P. 9
四半期個別受注の概況	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、輸出関連企業における輸出の伸び悩み等もあり企業収益は足踏み感があるものの、堅調な内需により概ね高水準で推移しており、雇用・所得環境の改善が続く中、個人消費も堅調さを維持しており、底堅く緩やかな拡大基調での推移となりました。一方で、米中貿易摩擦の拡大に伴う海外経済の不透明感が一層高まっており、わが国経済への下押し圧力による景気の下振れリスクには注意が必要と思われま

ず。

当社グループの主たる事業である建設業界におきましては、公共建設投資は底堅く推移しており、民間建設投資については、消費税増税を見据えた前期末までの駆け込み受注増により手持工事量は確保しており、設備投資においては工場や物流施設などの建て替え需要の拡大を受け、堅調さを維持しております。

しかしながら、高い水準の手持ち工事量の状況下、慢性的な技能労働者不足や建設資材等調達価格の上昇には注意を払う必要があります。

このような状況のもと、当社グループの当第2四半期連結累計期間の受注高は698億8千万円で、前年同期比0.5%の増加、売上高は686億6千5百万円で前年同期比25.1%の増加、売上総利益は71億4千万円で前年同期比34.3%の増加となりました。

営業利益につきましては33億7千1百万円（前年同期比120.8%の増加）となりました。

経常利益につきましては32億8千万円（前年同期比119.4%の増加）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては21億9千1百万円（前年同期比116.5%の増加）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(建 築)

受注高は617億3百万円(前年同期比5.6%の増加)、売上高は568億9千5百万円(前年同期比29.9%の増加)となり、セグメント利益は58億8千5百万円(前年同期比41.2%の増加)となりました。

(土 木)

受注高は81億7千6百万円(前年同期比26.3%の減少)、売上高は112億1百万円(前年同期比5.8%の増加)となり、セグメント利益は11億2千3百万円(前年同期比9.6%の増加)となりました。

また、「その他」の事業については、売上高5億6千8百万円(前年同期比7.9%の増加)、セグメント利益4千2百万円(前年同期比41.4%の増加)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資 産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて5.8%減少し、800億1千3百万円となりました。これは、工事代金の回収が進み、受取手形・完成工事未収入金等が59億4千6百万円減少した一方、債務の支払も進んだこと等により、現金預金が30億5百万円の増加に留まったことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2.2%減少し、167億6百万円となりました。これは、投資その他の資産のその他に含まれる繰延税金資産が3億1千6百万円減少したことなどによります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて5.2%減少し、967億1千9百万円となりました。

(負 債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて13.4%減少し、442億8千万円となりました。これは、支払手形・工事未払金等が35億1千4百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて4.0%増加し、139億2千4百万円となりました。これは、退職給付に係る負債が2億7千2百万円減少したものの、社債が9億9千万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて9.8%減少し、582億4百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2.8%増加し、385億1千5百万円となりました。これは、自己株式の消却により自己株式が11億6百万円が減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績及び足元の状況を鑑み、2020年3月期の業績につきましては、現時点で2019年5月10日に公表いたしました業績予想から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	23,545	26,550
受取手形・完成工事未収入金等	54,271	48,324
未成工事支出金	1,942	2,123
その他のたな卸資産	49	49
未収入金	4,877	2,637
その他	259	345
貸倒引当金	△21	△18
流動資産合計	84,924	80,013
固定資産		
有形固定資産	5,333	5,151
無形固定資産	886	1,012
投資その他の資産		
投資有価証券	9,442	9,435
その他	2,093	1,787
貸倒引当金	△681	△681
投資その他の資産合計	10,855	10,541
固定資産合計	17,075	16,706
資産合計	102,000	96,719
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	30,125	26,611
短期借入金	2,790	1,802
未払金	2,028	633
未払法人税等	1,790	921
未成工事受入金	6,903	6,500
完成工事補償引当金	501	615
工事損失引当金	4	159
その他	7,002	7,036
流動負債合計	51,147	44,280
固定負債		
社債	650	1,640
長期借入金	8,253	8,083
退職給付に係る負債	4,342	4,070
その他	139	130
固定負債合計	13,386	13,924
負債合計	64,533	58,204

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,614	9,614
資本剰余金	2,166	2,165
利益剰余金	23,616	23,468
自己株式	△1,149	△42
株主資本合計	34,248	35,206
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,334	3,324
為替換算調整勘定	△7	△16
退職給付に係る調整累計額	△293	△188
その他の包括利益累計額合計	3,032	3,119
非支配株主持分	185	189
純資産合計	37,466	38,515
負債純資産合計	102,000	96,719

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高		
完成工事高	54,376	68,097
その他の事業売上高	527	568
売上高合計	54,904	68,665
売上原価		
完成工事原価	49,184	61,088
その他の事業売上原価	402	437
売上原価合計	49,587	61,525
売上総利益		
完成工事総利益	5,192	7,008
その他の事業総利益	124	131
売上総利益	5,316	7,140
販売費及び一般管理費	3,790	3,769
営業利益	1,526	3,371
営業外収益		
受取利息	44	23
受取配当金	75	75
為替差益	41	—
持分法による投資利益	10	1
業務受託料	—	42
その他	5	25
営業外収益合計	177	168
営業外費用		
支払利息	100	63
為替差損	—	34
支払手数料	78	130
支払保証料	28	27
その他	2	3
営業外費用合計	209	260
経常利益	1,494	3,280
特別利益		
固定資産売却益	—	7
その他	0	0
特別利益合計	0	7
特別損失		
固定資産除却損	0	3
特別損失合計	0	3
税金等調整前四半期純利益	1,494	3,283
法人税、住民税及び事業税	176	812
法人税等調整額	309	274
法人税等合計	486	1,087
四半期純利益	1,008	2,196
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4	5
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,012	2,191

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	1,008	2,196
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	582	△9
為替換算調整勘定	—	△8
退職給付に係る調整額	9	105
その他の包括利益合計	592	87
四半期包括利益	1,600	2,283
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,604	2,280
非支配株主に係る四半期包括利益	△4	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. 補足情報

四半期個別受注の概況

① 個別受注実績

	受注高	
2020年3月期第2四半期累計期間	68,322百万円	△1.7%
2019年3月期第2四半期累計期間	69,515	△8.5

(注) %表示は、対前年同四半期増減率を示す。

(参考)受注実績内訳

区 分		2019年3月期 第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)		2020年3月期 第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)		比較増減		
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	増減率(%)	
建設事業	建築	官庁	15,157	21.8	8,735	12.8	△6,421	△42.4
		民間	43,262	62.2	51,409	75.2	8,147	18.8
		計	58,419	84.0	60,144	88.0	1,725	3.0
	土木	官庁	5,506	7.9	5,238	7.7	△267	△4.9
		民間	5,589	8.1	2,939	4.3	△2,650	△47.4
		計	11,095	16.0	8,177	12.0	△2,918	△26.3
	合計	官庁	20,663	29.7	13,973	20.5	△6,689	△32.4
		民間	48,851	70.3	54,348	79.5	5,497	11.3
		計	69,515	100	68,322	100	△1,192	△1.7

② 個別受注予想

	受注高	
2020年3月期予想	133,000百万円	△13.5%
2019年3月期実績	153,717	10.8

(注) %表示は、対前年同期増減率を示す。

[個別受注実績に関する定性的情報]

当第2四半期累計期間の個別受注実績は、前年同期比1.7%減の68億2千2百万円となりました。部門別では、建築部門は官庁受注が減少し、民間受注が増加しました。土木部門は官庁受注、民間受注ともに減少しております。